



# べにまる

- 自ら学ぶ子 ○思いやりのある子
  - 最後までやりぬく子 ○体をきたえる子
- 令和7年1月31日  
発行責任者 佐古岡 香

## 大人になるということとは



校長 佐古岡 香

新しい年が明け、ひと月が過ぎようとしています。本校は1月14日より3学期が始まり、各学年が今年度のまとめにおけて取り組んでいます。

先日、公民館において成人式（二十歳のつどい）が行われ、私も出席させていただきました。この度二十歳を迎えた方々は、私が留寿都小で6年生の担任をしていた時の3年生です。当時の面影があり、とても懐かしく思うとともに、大人になったんだなあと歳月の流れをしみじみと感じた次第です。

ある調査によると、「大人になったと感じた瞬間」は、1位：自分でお金を稼ぐようになったとき、2位：お酒を飲めるようになったとき、3位：免許を取ったとき、だそうです。法的には18歳で成人ですが、「成人＝大人」とはならないようです。

また、大学生に聞いた理想の大人像は、次のようなものでした。

「精神的・経済的自立を果たし、目標をもって日々を過ごせる大人」

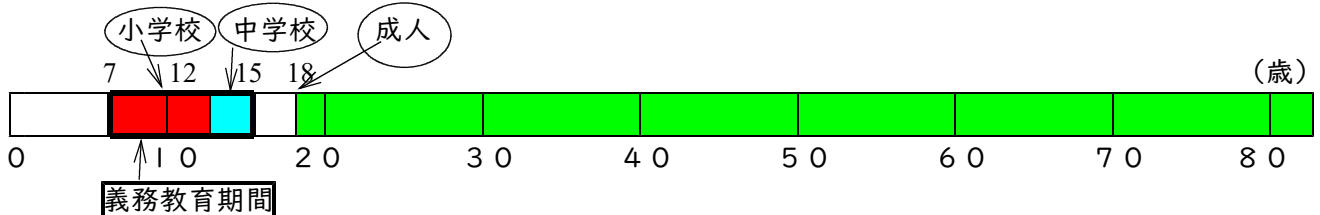
「カッコよくて、人に尊敬されるような大人」

「自己管理ができてしっかりしているが、遊び心を持っている大人」



「経済的・精神的な自立」をした上で、「子ども心を忘れない」「自分の意思や意見を持つ」「心にゆとりがある」のが理想のようです。

令和6年7月末に厚生労働省が発表したまとめによりますと、日本人の平均寿命は、男性81.09歳（世界5位）、女性87.14歳（世界1位）だそうです。人生100年時代と言われていますが、成人（18歳）してからの人生が非常に長いことが下の図からもお分かりいただけると思います。



義務教育の目的の一つは、「個人の能力を伸ばしつつ自立的に生きる基礎を培うこと」です。辞書では「自立」を「他の助けや支配なしに自分一人の力で物事を行うこと」と定義されています。

しかしながら、誰の助けも借りずに生きていくことは、実際のところ難しいと言わざるを得ません。福祉や地域コミュニティ、友人はもとより、SNS等のつながりを助けとしている人もいることでしょう。自分一人の力で行うことだけでなく、「依存・孤立することなく、自己実現する力をもっていること」を「自立」と考えてよいのではないのでしょうか。

子ども時代はそう長くはありません。あっという間に自立して生きていく時がやってきます。自分らしく人生を生きていくために、子ども時代のうちに「ほどよく誰かや何かとつながり、自分で考え判断し行動する力」を身に付けていくことが重要だと思っています。

今、本校に在籍している児童が大人になる頃は、世の中はどのように変化しているのでしょうか。いかに変わろうとも、自分の足でしっかりと歩いていくことを願ってやみません。

## 2月行事予定

3日(月)	スキー学習(4~6年) 5時間授業	17日(月)	読み聞かせ(放) 防火ポスター展示
4日(火)	フッ化物洗口	18日(火)	フッ化物洗口
5日(水)	クラブ	19日(水)	児童会役員選挙
7日(金)	スキー学習(1~3年) 4時間授業(1~3年)	23日(日)	天皇誕生日
11日(火)	建国記念の日	24日(月)	振替休日
12日(水)	児童会	25日(火)	フッ化物洗口 PTA一斉部会・役員会
14日(金)	参観日 読み聞かせ(朝)	26日(水)	全校朝会(認証式)
		28日(金)	6年生を送る会

## スキー学習

1月17日(金)からスキー学習が始まりました。1年生は学校でスキーの準備や片づけの練習をして、グラウンドの雪山で滑る練習もしました。2~3年生は24日(金)にウエストスキー場で1回目のスキー学習を、4~6年生は17日(金)と27日(月)の2回、イーストスキー場でスキー学習を行いました。17日は雪の中でしたが、24日と27日はいい天気で気持ちよく滑ることができました。



## 中学校一日入学

1月21日(火)は午後から6年生が中学校に行って、国語の授業を体験してきました。また、授業の前には、生徒会から学校紹介があり、希望者に対しての部活動体験もありました。中学校入学まで2か月余り、不安と希望が入り混じった状況ではないかと思いますが、授業や部活動を体験できたことで、少し不安が和らぎ、期待や希望が大きくなってきたのではないかと思います。



## 新1年生一日入学

1月28日(火)は保育所から4月に入学する新1年生が来校して、生活科の学習を1年生と一緒に行いました。1年生が1年前には自分たちがどんなことが楽しみだったか、心配だったかを思い出して、新1年生が楽しい気持ちで4月から学校に来られるように準備をして一緒に学習しました。





# べにまる

「輝きを未来に」

○自ら学ぶ子 ○思いやりのある子

○最後までやりぬく子 ○体をきたえる子

令和7年1月31日

発行責任者 佐古岡 香

## 後期保護者アンケート結果

### 評価項目

1. 学校では、「振り返り」を活用し、基礎的・基本的の学力をつける授業が行われている。
2. 学校では、子どもたちが落ち着いて学習できる環境づくりがなされている。
3. 学校では、自分の考えを持ち、仲間と対話して学びを深める授業が行われている。
4. 学校は、仲間の良いところを認め、互いに高めあえる環境づくりに努めている。
5. 学校は、挨拶の励行、きまりや時間を守る、整理整頓など基本的な生活習慣を身につけさせている。
6. 学校では、児童が主体となり、児童会活動が行われている。
7. お子様は、自分の体を理解し、適切な運動や生活習慣を意識した実践ができています。
8. お子様は、学校での教育活動を通して、睡眠、食事の大切さを知り、健康の保持増進の意識が育っている。
9. お子様は、ふるさと教育を通して、留寿都について学習を深めている。
10. 学校は、コミュニティ・スクールの仕組みを生かし保護者や地域と連携し、特色ある学習活動（総合的な学習の時間など）をすすめている。
11. 学校は、保育所や中学校・高校と連携した教育活動を行っている。

### 評価基準

- 5 … あてはまる                      4 … ややあてはまる                      3 … どちらともいえない  
 2 … ややあてはまらない                      1 … あてはまらない                      0 … わからない

	5	4	3	2	1	0	得点
1	42%	47%	0%	5%	0%	5%	4.3
2	37%	37%	11%	11%	0%	5%	4.1
3	53%	32%	11%	0%	0%	5%	4.4
4	42%	47%	11%	0%	0%	0%	4.3
5	42%	42%	11%	0%	5%	0%	4.2
6	37%	37%	0%	0%	0%	26%	4.5
7	26%	42%	21%	0%	0%	11%	4.1
8	21%	42%	32%	0%	0%	5%	3.9
9	47%	42%	0%	0%	0%	11%	4.5
10	58%	26%	0%	0%	0%	16%	4.7
11	37%	42%	0%	5%	5%	11%	4.1

## 記述欄（一部抜粋）

- 小学校、中学校統合する様ですが、どのように変わってどのように生活、勉強、服装など変わって行くのかイメージが全くつきません。どのようになるのか説明してもらえる時が来るのでしょうか？
- いじめがないお互いが尊重しあえるような教育をしてほしいです。
- 登校時に校長先生が見守ってくれているのはとても安心できます。下校時もどなたか 1 人で良いので見守りがあつたら良いなと思っています。教育は十分というほどしていただいているので、児童（特に 1.2 年生）の下校時の身の安全を是非今一度考えていただきたいです。

## 肯定的評価（「あてはまる」「ややあてはまる」）

### の割合の比較

	R5 前期	R5 後期	R6 前期	R6 後期
1	76%	91%	71%	89%
2	72%	69%	89%	74%
3	87%	94%	93%	85%
4	83%	89%	89%	89%
5	85%	83%	93%	84%
6	76%	71%	85%	74%
7	67%	74%	78%	68%
8	61%	77%	70%	63%
9	80%	83%	96%	89%
10	80%	94%	96%	84%
11	87%	86%	96%	79%

### 得点の比較

	R5 前期	R5 後期	R6 前期	R6 後期
1	4.2	4.4	4.4	4.3
2	4.0	4.0	4.1	4.1
3	4.3	4.4	4.5	4.4
4	4.2	4.2	4.5	4.3
5	4.3	4.2	4.3	4.2
6	4.3	4.3	4.5	4.5
7	3.9	3.9	4.1	4.1
8	3.8	4.1	3.9	3.9
9	4.2	4.4	4.5	4.5
10	4.3	4.5	4.7	4.7
11	4.3	4.2	4.6	4.1

## 見解 および 考察

- 義務教育学校については、現在の 3 年生以上の保護者の方に一度説明しているところです。2 月に義務教育学校準備委員会も設置されることとなりましたので、4 月の参観日の際に全体懇談を行い、教育委員会からも含めて説明の機会を設けるよう検討しています。
- 下校時の見守りについては、低学年担任も児童会やクラブ活動の指導を行っていることや居残り児童への対応があることなどから現状では難しいと考えています。荒天時には、学童の指導員がお迎えにきたり、学校から職員が付き添って行ったりしていますが、日常的には児童自身が交通ルールを守り、身の安全を守ることができるように、交通安全指導を行っていきます。
- 前期と比較して、11 項目中 9 項目で肯定的評価の割合が低下していますが、得点についてはほぼ同じとなっています。今回はアンケートの回答数が家庭数の約 1/3 だったことが影響していると考えられます。令和 7 年度は各ご家庭に積極的に回答していただけるような働きかけを行っていきます。
- 「7.適度な運動と生活習慣の実践」「8.睡眠・食事の大切さを知り健康増進を意識」の肯定的評価が前期よりさらに低くなっています。降雪期になり、活動量が下がっていることから、積極的な運動への働きかけを学校としても行っていく予定です。ただ、5 年生を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、男女とも 8 種目中 7 種目で全国平均を上回る結果となっていることから、体力自体は、十分に身につけてきている状況です。